

コース 42 塩の道（根知^{ねち}コース）

リーダー CL M/T SL S/K, K/T

実施日 平成24年 10月 28日（日）天候 曇り一時小雨

参加者 34（男性 10 女性 24）

グレード B上

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:13	新津西IC～米山SA, 蓮台寺PA
山口関所跡	8:10	8:20	糸魚川IC下りる 雨具を付ける
大塞の神（一本杉）	8:55	9:00	頸城山塊眺望 記念撮影
白池～諏訪社石祠	9:50	10:15	雨飾山, 駒, 鬼ヶ面, 鋸を眺望
大網峠	10:55	11:00	最高点840m
屋敷跡	11:20	11:55	見事なブナ林, 昼食 岩場の渡渉
横川の吊橋	13:10	13:15	昔, 塩の道随一の難所 2人ずつ渡る
芝原の六地藏	13:45	13:52	大網石仏群を拝みながら歩行
大網バス停	14:00	14:10	歩行終了 雨あがる
明星山大岩壁展望台	14:35	14:55	記念撮影
小滝川ヒスイ峡	15:00	15:05	世界ジオパーク 下車して眺める
高浪の池	15:15	15:30	雨模様のため一周歩行は中止
糸魚川IC		16:00	IC手前のコンビニ 米山SA
秋葉区役所前	18:30		新津西IC～駅西口経由

山行等概要（幹事のコメント）

- 参加者多数のため、小型バスとジャンボタクシーの2台となる。
- 区役所出発時は曇り、柏崎P附近より小雨が降り出すがすぐ止み、また降り出すの天気。現地に到着してから中止するかを決めることにして、蓮台寺PAで身支度をする。
- 山口関所跡近くで下車したときは降っていないが風が強い。大降りしないことを願って実施する。
- 登山道は大網峠まではなだらかな歩きやすい上り、「大塞の神」「白池」では曇ってはいたが山々の眺望ができた。白池周辺の紅葉は一週間くらい早い感じ。
- 「白池」を過ぎて「角間池」附近では黄葉した見事なブナ林に見とれる。
- 大網峠からは下りになり屋敷跡では数名の登山者が我々と反対方向から上ってきた。
- 小さな渡渉が3回ほどあったが無事通過。
- 全員足並みが揃って、一日を通してたいした雨にもあわず終わることができてホッとした。中止したらきっと後悔したと下山してから思った。



諏訪社石祠より「白池」と駒ヶ岳方向を背に

「塩の道（根知コース）に参加して」

(1560) Y/O

今年度からハイキングクラブに仲間入りさせてもらい、山の魅力にすっかりはまってしまった。苦勞して登った山頂からの眺めは何物にも代えがたい。みんなで賑やかにおしゃべりしながら登るのは楽しい。休憩中の甘いおやつや山で頂くお昼も格別である。植物の名前を聞いた後から忘れてしまうが、それでも1つ2つと覚えられるのは嬉しい。山の空気、自然の豊かさ、植物の可憐さと逞しさ、山の厳しさと美しさに毎回感動をもらっている。

さて、今回の塩の道は今年7回目の山行である。総会資料の登山計画をもらった時から、ぜひ参加したいと、とても楽しみにしていた。新潟県糸魚川と長野県松本を結ぶ30里（約120km）の塩の道「千国街道」は石畳道や石仏などの街道の跡がよく残っていると聞く。日本海側から山国信州へ塩や海産物を、一方信州からは、たばこや麻などが運ばれた江戸時代の輸送路であった。歴史



の大好きな私としては、機会があれば一度は歩きたいと前々から思っていた。季節的にも紅葉真っ盛りで素晴らしい景色に出会えるのではないかと当日をわくわくして待っていた。

ところが、実施日の天気あまりよくないらしいとの予報。前の晩も天気が気になってなかなか寝られず、真夜中の12時ごろインターネットで糸魚川付近の予報を見た。午前中曇り、昼過ぎから雨、3時すぎから大降りの予報に何とか持ちこたえてと願わずにはいられなかった。そんな思いで不安と寝不足気味のまま参加した。

参加者は34名と多く、小型バスとジャンボタクシーの2台で行くことになった。行きの車中でも、曇りや雨の空模様皆、一喜一憂となった。糸魚川に近づくにつれ雨模様になり、場合によってはコース変更もあるとのリーダーの話。しかし、幸いにも出発地点の根知地区山口にバスが着く頃には雨も止んで、予定通りのコースで行くことに決定。ほっとひと安心する。その後、雨に備えて身支度を整え、歩き始めた。

今回の塩の道は、根知地区の山口関所跡（標高300m）から大綱峠（標高840m）を通過して大綱バス停までの登り2時間下り2時間ほどの山歩きであった。登山道は街道の面影が所々に残されていて、「塩の道」の雰囲気十分に味わうことができ、とてもよかった。所々に石を敷き詰めた山道、

昔の面影を残す歩荷宿跡や茶屋跡、屋敷跡などの旧跡、色づいた木々が池に映り込んでとてもきれいだった白池や角間池、道端にひっそりと佇む菊の花地蔵や芝原の六地蔵や石仏等、見どころも多かった。白池では鐘を順番に鳴らした。大木の根元に安置された菊の花地蔵の素朴さや苔むした石垣の上に安置されていた芝原の六地蔵の赤い前掛けや頭巾がとても印象的だった。真新しいそれらは村の人たちが時々取り替え大事にしていることが伺えた。旅人はここを通りながら何をお祈りしたのだろうか。



ブナ林の中の屋敷跡。ここで昼食

茶屋跡や歩荷宿跡では、当時は大変な賑わいだったのだろうと、今は礎石のみ残された場所に立ち、案内板を見ながら思いを馳せることができた。また、歩き始めてすぐの高台にあった大塞（おおざい）の神の一本杉は見事であった。旅の安全を祈願したのだろうか石仏が祭ってあった。またここからの山々の眺めがとてもよく、駒ヶ岳、鬼ヶ面山、鋸山がよく見えた。下の田園風景もよく見えた。

ところで、今回の街道が思っていたより道幅が狭く、急な上り下りもあり、重い荷物を担いだ歩荷や、牛方が往来したのかと思うと昔の苦勞が偲ばれた。また、横川の吊橋は昔、塩の道随一の難所であったそう。私たちもこの吊橋を二人ずつで渡った。それ以上の人数で渡ると危険であると教えてもらい恐る恐る渡った。そっと吊橋から覗いた川の流れはとても清んでいてきれいであった。



今回は紅葉の時期とぴったり重なり、塩の道の街道沿いや周囲の山々がとてもきれいであった。角間池や白池に映り込む紅葉も素晴らしかった。そして何とんでもブナ林の黄葉が言葉にならないくらい美しかった。雨に少し濡れた葉が光輝き、本当に美しかった。新緑のブナ林も美しいが、それに負けないくらい秋のブナ林も美しいと感じた。思わずデジカメのシャッターを何度も押してしまった。

結果的には歩き終えるまでほとんど雨も降らず、降っても小雨程度で本当にラッキーであった。コースを歩き終えた2時すぎ、大網バス停でバスに乗り込む頃に、大粒の雨が降り出し、私たちの到着を待っていたかのように天の神様に思わず感謝した。



塩の道を踏破してから明星山の大岩壁、小滝川ヒスイ峡、高浪の池も見回った。明星山の大岩壁には圧倒された。ロッククライマーの練習場にもなっているそう。小滝川ヒスイ峡は雨で河原までは下りず、駐車場近くの展望台から眺めた。高浪の池は一周 15 分ほどで歩けるが、今回は雨のため、池を眺めてバスに戻った。高浪の池は人影も疎らで静かであった。池の対岸に行くと、明星山が池に映ってとてもきれいだという話を聞いた。またの機会にぜひ見てみたいと思った。



明星山大岩壁を背に。
展望台より

今回の山行は、雨に降られることを覚悟しての参加だったが、予定のコースを歩けたことが一番であった。山々の紅葉と秋の街道の風情を思う存分堪能できた。今度は季節をかえて、新緑の頃にまた来てみたい。「塩の道祭り」というのがあることも聞いている。土地の人々との触れ合いもあるらしい。機会を作ってぜひ参加してみたい。そしてできれば、何年がかりでもいいので、塩の道 120km を全踏破してみたい。新たな希望を持つことができた。

今回の「塩の道」を企画実行してくださったリーダーはじめ幹事の皆様、参加者の皆様、大変お世話になりました。天候を気にしての山歩き、さぞ気苦勞も多かったことと思います。お礼申し上げます。ハイキングクラブ1年目の楽しい思い出になりました。そしてたくさんの山の仲間と知り合い、いろいろ親切にいただいたことに感謝申し上げます。